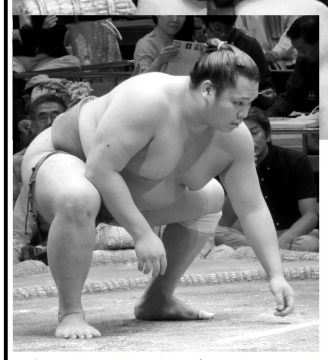
高田川新聞

2017年10月30日
発行者
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

竜電、湘南乃海　自己最高位更新

竜電　三場所連続勝ち越し

三横綱に加え、三日目には高安、六日目には照ノ富士と、九十九年ぶりに三横綱二大関が休場の異常事態となった平成二十九年の九月場所。高田川部屋の二人の関取は、明暗が分かれた。竜電は、初日から二連勝。しかもその内容がよかった。素早い立ち合いから押し込んで一気に攻め込み相手を押し出す、理想的な攻め。腰の重い豊響にも押し負けず、旭秀鵬にも相撲を取らせなかった。幕内上位経験者の二人を次々に破り、勢いに乗った竜電は、十日目、ベテラン安美錦を破って混戦の十両で単独トップに立つ。翌日の東龍戦にも勝って勝ち越し一番乗り。にわかに十両優勝と幕内昇進の期待が膨らむ。しかし、そこからまさかの四連敗。勝ちたい思いが攻めという最大の武器を奪った。名古屋場所でも一時はトップに立ったが終盤に失速。十五日間、最後まで気持ちを切らさず攻め続けた時、竜電の幕内昇進という大きな夢は叶う。



輝はまたしても三連敗のスタート。四日目に三連勝と勢いに乗る貴景勝に土をつけて初日が出たが、その後も四連敗。攻め込むものの、焦りからか、武器であるはずの突き押しが上づっぱりになり相手を押し出せず、土俵際での逆転負けを許す。上位陣が抜ける中、平幕力士にとっては優勝を狙える絶好のチャンス。黒星を喫したとはいえ、名古屋場所では、二横綱、一大関と対戦し、自力がついたところをみせて、九月場所での活躍が期待された。しかし、結果は四勝十一敗と七月場所よりも白星が一つ消えた。輝の攻めの威力があるのは誰もが認めるところ。相手力士もいろいろと研究して工夫した戦いをしてきている。突き押しを磨くとともに、相手の工夫を上回る相撲を取るしかない。二大会連続でオリンピック金メダリストとなった水泳の北島康介選手がこんなことを言っていた。金メダルを取った時と同じような練習をしていたのでは次はもう金が取れない。より進化した練習をしてこそ次も金を狙えると。相撲ももうこれでいいという稽古はない。体からぶつかるような新しい立ち合いも試していた輝。よりレベルの高い相撲をめざし、稽古に精進し、土俵の緊張感の中でそれを花開かせた時、三役という次のステージが待っている。

安芸ノ花　幕下上位へ返り咲き

一時はずっと幕下十五枚目以内の地位で着実に十両昇進の道を歩んでいると思われた安芸ノ花。しかし、一年前の九州場所で一勝しかあげられずに番付を下げ、今年は幕下中盤からなかなか抜け出せない。見かねた元・小結で先代の佐田の海さんが改名を勧めた。双子力士の（安芸乃）山と川。山はどっしりしているが、川は流れてしまう。どうせなら花籠一門の花を使ったらよいと今年五月場所より、安芸乃川から安芸ノ花に改名した。改名効果か、四場所連続の勝ち越し。九月場所では三役経験者の豊ノ島を豪快な相撲でぶん投げて五勝目。元々相撲センスはよい。この二年で体も大きくなった。しかし、それが災いして、引いたり叩いたりする相撲で勝ててしまう。だが、幕下上位は小手先の相撲では勝ちは続かない。恵まれた才を活かすには、強く当たり、しっかりと前に攻める相撲の基本が不可欠だ。ようやく目が覚めたか、安芸ノ花の相撲に変化が見られた。時おり出る悪い癖を封印し、前に出る相撲で大きな花を咲かせてほしい。中学卒業したばかりの頃、同期入門でビビった大卒の希善龍や高校での実績のある琴勇輝に堂々と勝負を挑む日もそう遠くはない。

湘南乃海　幕下で初の六勝

今年の初場所まで八場所連続勝ち越しと自己最高位更新を続けていた湘南乃海。だが、大阪場所で三勝負け越し、五月場所では一勝六敗と大きく撥ね返され、三段目に陥落。悔しさで奮起した若武者は、名古屋場所では六勝して一気に幕下復帰。番付も自己最高位に近いところまで戻した。九月場所、水を得た魚のようにハツラツとした湘南乃海が幕下の土俵で躍っていた。小さい相手に潜られても慌てず、終わってみれば幕下で初の六勝。今場所は大きく自己最高位更新して幕下二十枚目以内に入る。子供の頃、テレビで観ていた力士との対戦でも臆することなく大暴れしてほしい。

また、三段目では巡業の初切で人気の勝武士が三場所連続勝ち越し、連続五勝と元気がいい。番付も自己最高位近くになり、幕下が狙える位置につけた。

先場所は、大雷童と前大将が取組中の怪我のため途中休場。稽古や食事のみならず、体のケアにも十分に気を配って今年最後の場所、高田川力士全員が素晴らしい戦いを見せてほしい。

大相撲十一月場所

平成29年11月12日より
15日間
於　福岡国際センター

高田川部屋
十一月場所　福岡道場
福岡県福岡市早良区小笠木678-1
オイスカ西日本研修センター

※高田川部屋では、15歳から22歳までの力士を目指す若者を随時募集しております。

＜ご当地力士紹介＞

大野城市出身の大乗です。子供の頃、相撲大会出場のために相撲を始めました。押しからのもろざし、中に入っての速攻を武器に縁起のよい福岡で頑張ります。応援よろしくお願いいたします。
本名：中嶋晃士（平成３年７月１９日生）

幕内	輝	先場所	4勝11敗	●●●○●●●●○○●●○●
十両	竜電	先場所	8勝7敗	○○●●○●○○●○○●●●
幕下	白鷹山	先場所	3勝4敗	○○●●●●●○
〃	安芸ノ花	先場所	5勝2敗	●○○○●○○
〃	湘南乃海	先場所	6勝1敗	○●○○○○○
〃	安芸乃山	先場所	4勝3敗	●●○○○●○
〃	勝武士	先場所	5勝2敗	●○○○●○○
三段目	暁	先場所	4勝3敗	●●○○○○●
〃	大雷童	先場所	1勝2敗4休	●○●ややや
〃	須磨ノ海	先場所	5勝2敗	○○●○●○○
〃	恵比寿丸	先場所	3勝4敗	○●○●●○●
〃	大野城	先場所	4勝3敗	●○○●○○●
〃	剛力山	先場所	1勝6敗	●●●●●●○
〃	大乗	先場所	1勝6敗	○●●●●●●
〃	前乃富士	先場所	2勝5敗	●●●○●●○
序二段	櫻	先場所	3勝4敗	●○●○○●●
〃	前大将	先場所	2勝2敗3休	●○○●ややや
新加入	面（おもて）	今場所前相撲		

先場所は自分の相撲が崩れてしまい迷いのある相撲になってしまった。力は確実についてきていると思うのでしっかりそれを活かせる体を作って上を目指したい。

勝ち越しまでは攻めながら中に入る相撲が多くできたが、連敗は攻める気持ちを忘れて勝とうとしてしまった。思い切りのいい相撲で勝ち越して新入幕を決めたい。

二場所連続で不甲斐ない相撲ばかりで情けなかった。来場所は更に鋭い立ち会いを意識して頑張りたい。

自分の相撲を取りきった時は白星に繋がっている。悪い癖をなくして、立ち合いと俊敏さ、スピードを磨きたい。

幕下で初めて六勝できたが立ち合いの威力がまだまだ足りない。基礎をしっかりして強い体でぶち当たりたい。

連敗から勝ち越せたことはよかった。稽古から前に攻めることを意識して、土俵際にも強くなりたい。

常に目の前の一番に集中できた事が勝ちに繋がった。小さい体を活かし、自分の相撲で勝ち越しを続けたい。

考え過ぎて相撲が崩れて二連敗。立て直せて勝ち越せてよかった。体の大きさだけではなくスタミナもつけたい。

途中休場は体のケア不足と反省。土俵に上がれる喜びを噛みしめて上へ上がっていく足掛かりの場所にしたい。

体がよく動いてリズム感ある相撲で五勝できた。続けて勝ち越してよい新年を迎えられるように頑張りたい。

得意な右四つになると殆ど負けなかったが押し相撲に何もできなかった。勝ち越して笑顔で来年を迎えたい。

結果に繋がる稽古をしっかりして、ご当所場所では四勝以上で連続勝ち越しして来年へのよい流れを作りたい。

体のケアをしっかりし、よいイメージをしながら体調万全で前へ攻める気迫溢れる自分の相撲で勝ちたい。

新しい試みがなかなかハマらず連続負け越ししてしまった。叩かず前に出る相撲でご当地では必ず勝ち越したい。

勝ちを意識し過ぎて流れが悪くなっていた。最後の一番のような柔軟性のある流れのよい相撲で勝ちたい。

三勝からの負け越しが悔しい。下半身強化や稽古でやってきたことを活かして次こそ勝ち越したい。

二勝二敗から人生初の途中休場。怪我を恐がらず、中に入って前に出る相撲を意識して頑張りたい。

相撲経験はありませんが、周りの皆さんの応援を受け入門しました。ずっと努力できる力士になるよう頑張ります。

太熊　引退

くまちゃんの愛称で親しまれた太熊が、九月場所千秋楽、黎大に勝って最後の一番を白星で飾り、十四年の相撲人生にピリオドを打った。
高田川部屋千秋楽祝賀会冒頭、太熊の断髪式が行われ、後援会有志、部屋の兄弟弟子、友人・知人、家族らが次々と髷に鋏を入れ、最後は高田川親方が大銀杏を切り落とした。太熊はこの三年間、力士の側ら夜間の学校に通い、この春めでたく柔道整復師の国家試験に合格。引退後は、東京・墨田区にある整骨院に就職し、第二の人生をスタートさせた。
最高位は、幕下西四十五枚目。

三役行司　式守勘太夫の目

九月二十二日の私の誕生日、部屋の後輩行司・式守辰之助に新しくケヤキの軍配を贈った。表には師匠の力強い「気」という文字とともに「元安芸乃島　高田川勝巳　書」と揮毫され、裏には私が「式守辰之助君へ」という為書きと私の誕生日を記した。師匠と勘太夫、二人の思いが辰之助の土俵にかける意気込み、人生に羽ばたく両翼となり、人々に立派と言われる行司になってくれることを願う。そう言う私も、生家今岡家の家紋・丸に橘が表に大きく入り、長女の誕生日を漆塗りの軍配に白文字で大きく載せている。背負っているものの責任の重さ、これが本来の動きや反応を瞬時に見極める力になっている。辰之助にも伝授してゆきたい。

＜ご案内＞

高田川部屋 千秋楽祝賀会

平成29年11月26日（日）午後6時半　開場
※ 会場は、高田川部屋 福岡道場にて（会費制）

後援会、千秋楽祝賀会、四人マス席、新弟子募集など
各お問い合わせ・お申込み　行司　式守 勘太夫 まで
電話　090-3215-6524

高田川親方の喝！

輝は稽古場では着実に力がついている。しかし、本場所で力が発揮できていない。なぜか。強い弱い以前に精神力の戦いで負けているからだ。それを克服するには稽古しかない。
竜電はいい相撲で調子よくいっていたが、最後は四連敗。これも精神力の問題だ。勝負ごとは勝ちにいったり、勝ちたいと思うと負ける。やはり勝負しにいかなければ勝てない。精神力の甘さを反省し、反って負けたことがプラスになるよう見つめ直して、より稽古をするべし。
幕下以下は相変わらずの者もいるが、湘南乃海が力をつけてきた。のんびりしていると先を越されるぞ。もっと自分に厳しい稽古に取り組むべし。

※表記の番附は正式発表前の予想